

# 地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

～「川下中学校区地域協育ネット」の取組～

【岩国市 川下中学校区】

## 地域の概要

川下中学校区は岩国市のほぼ中心部に位置し、川下小学校と愛宕小学校の学校風土を異にする二つの小学校区からなります。川下中学校は、生徒数が500人を超え、岩国市内では生徒数が最も多い中学校です。米軍岩国基地を校区内に有し、地域や学校、生徒の雰囲気も国際色豊かです。商業・住宅地域や造成された団地及び干拓地に広がる蓮田の農業地域からなっています。

人口	21,669人	
世帯数	10,499世帯	
対象校及び児童生徒数	川下中学校	530人
	川下小学校	427人
	愛宕小学校	584人

## 組織の内容

川下中学校区地域協育ネット協議会は、平成25年度に、川下中学校学校運営協議会を推進母体として立ち上げました。今年度、新たに川下中学校区地域協育ネット協議会設置要綱を定め、組織的に連携を図っています。

### ○協議会委員の構成

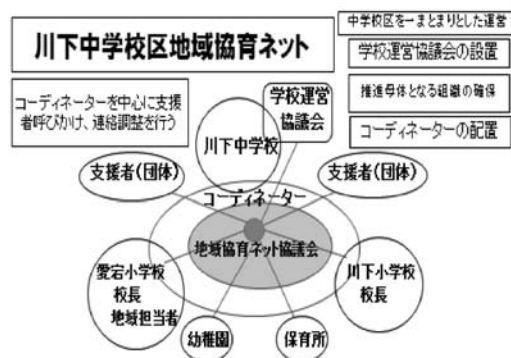
互選により学識経験者を会長、会長の指名により地域関係者代表を副会長に選出し、各地区社会福祉協議会関係者や地区主任児童委員などの地域関係者4人、育友会関係者3人、各小・中学校長や各プロジェクトの担当者などの学校関係者12人、「地域協育ネット」コーディネーター1人の計22人で構成しています。また、オブザーバーとして、岩国市教委からも参加していただいています。

### ○協議会

6月に第1回協議会（協議会設置要綱、会長・副会長の選出、今年度の計画）、11月に第2回協議会（県教委主催の「熟議の場づくり」応援出前講座）受講）、2月に第3回協議会（取組の反省、次年度へ向けた方向付け）を、川下中学校学校運営協議会にあわせて実施しました。

### ○3校連携研修会

8月に川下中・川下小・愛宕小の全教職員で「地域協育ネット」に対する理解を深め、より教育効果の高い実践となるよう共通理解を図ることができました。



3校連携研修会

## 特色・重点的な取組

今年度は、前年度の計画を実行に移す初年度となりました。第1回協議会で計画を確認し、「校区内安全マップづくり大作戦」「学習支援ボランティア・川下塾」「校区内クリーン大作戦」の三つのプロジェクトを実施しました。更に、「地域協育ネット」コーディネーターを中心に協議を深め、当初の計画にはなかった保・小・中合同の「津波避難訓練」や中学校1年生を対象とした職業講話も実施し、地域と連携して成果を上げることができました。

## 主な活動の紹介

### ○校区内安全マップづくり大作戦 (H26. 8. 20)

- ・校区内 27 ブロックの危険箇所を調査し、安全マップを作成
- ・川下中 2 年生、川下小 6 年生、愛宕小 4 年生、育友会、地域の方が参加 計 216 人

(参加者の感想)

- ・いろいろな人や子ども 110 番の家や店の人、じちかいの人たちがまもってくれていて、いい町だと思いました。(小学 4 年生)
- ・この地区の安全を見守ってくれている地域の方に感謝したいです。地域の方々ともふれあうこともでき、自分の住んでいる地域の安全を守るのはとても大事なことだと分かりました。(中学 2 年生)



安全マップづくり大作戦

### ○学習支援ボランティア・川下塾 (H26. 8)

- ・川下中学生を対象にした夏休み期間中の補充学習 (3 年生 8 日間、1・2 年生 4 日間)
- ・支援員として、短期大学生、専門学校学生、育友会、小学校教員が参加 のべ 90 人

(参加者の感想)

- ・ボランティアの方が一緒に考えて教えてくださったのでうれしかったです。質問しやすく、理解できる実感がありました。(中学 3 年生)
- ・素直に聞き入れてくれて良かったです。気軽に質問をしてくれるので、こちらも楽しく教えることができました。(学生)



川下塾

### ○津波避難訓練 (H26. 10. 27)

- ・大震災、津波を想定した保・小・中合同の避難訓練
- ・川下中、愛宕小、保育所(2)、育友会、地域の方が参加 約 1200 人

(参加者の感想)

- ・私たち 3 年生は、園児を連れて一番近いルートで避難しましたが、他学年より一番避難に時間がかかりました。それでも冷静に判断して移動することが大切なんだと思いました。(中学 3 年生)



津波避難訓練

### ○校区内クリーン大作戦 (H26. 11. 19)

- ・校区内 27 ブロックの清掃活動 (各ブロックの道路、公園、空き地を清掃)
- ・川下中 1 年生、川下小 5 年生、愛宕小 5 年生、育友会、地域の方が参加 計 454 人

(参加者の感想)

- ・たばこのごみが多く道に落ちていた。取りにくいごみは、中学生が積極的に取ってくれた。保護者の方とも協力し、きれいな地区になったと思う。(小学 5 年生)



校区内クリーン大作戦

## 成果と課題

学校と地域の連携を本格的に考える雰囲気広がりました。当初計画していた三つのプロジェクトの実施とともに、津波避難訓練、職業講話等、地域と連携することで、より充実した教育活動が展開できるということを実感しました。今後は、行事的な取組だけでなく、学校生活の中に地域の力を生かした日常的な取組もできないかと考えています。

## 今後の取組

地域協育ネット協議会等で「熟議」を重ね、子どもの 15 年間の育ちを見通した系統的な活動や学校生活に潤いを与える環境面での整備、学力向上を図るための取組などを推進していきたいと考えています。また、幼・保を含めた学校間の連携を密にするとともに、各校が地域との連携を深め、より開かれた学校づくりをめざしていきます。